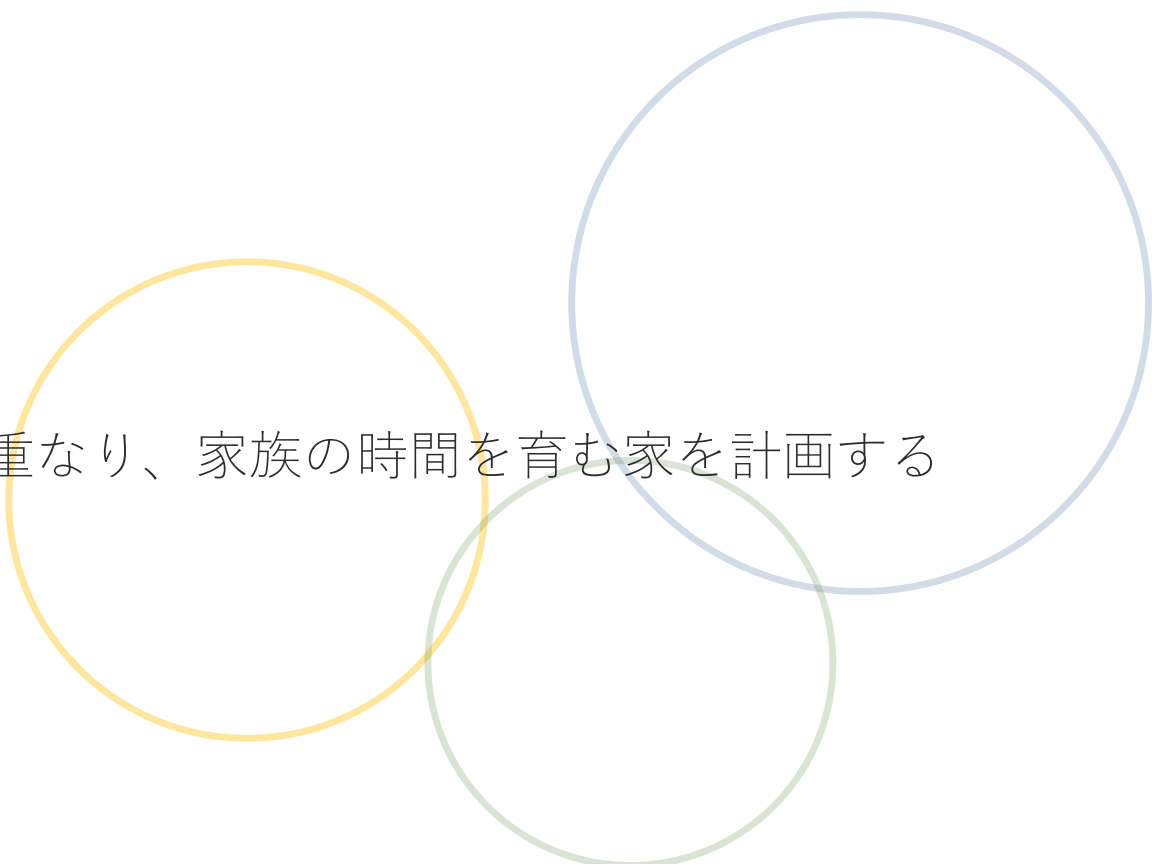


house k.

220513 ogawaa design studio

theme



1 人の時間が重なり、家族の時間を育む家を計画する

豊かな暮らしのための10の提案

1. 庭



縁のあるプライベートな中庭を設け、生活の場の一部として位置付ける。

中庭は家族の営みの緩衝帯になりながらつなげる役割を担う。



2. 囲炉裏



生活の中心に囲炉裏を置く。

調理や暖を取るのみならず、家族は囲炉裏を毎日囲むことが習慣となる。



3. 土間



玄関から家の3割程度を土間とする。

土間は利便性に富むだけでなく、庭と部屋、家と町のつながりを促す。



4. 田畑



のどかな田畑が多く残る立地を活かした計画とする。

田畑の眺めや家庭菜園で食への関心を高め、健やかな暮らしにつなげる。

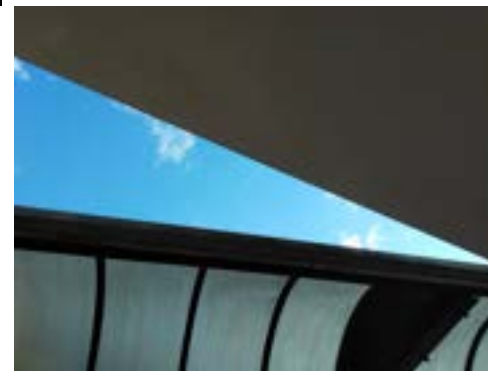


5. 空



さまざまな場面で空を意識させる計画とする。

人が生きものである以上、空はバイオリズムの起点であり、誰もが共通で見ているもの。



6. スタジオ



主人のためのスタジオをつくる。

いくつになってもまわりを気にせず籠れる場所は誰でもほしい。童心に帰ることで自分を保つ場所。



7. ロフト



主婦の為のロフトをつくる。

いくつになってもまわりを気にせず籠れる場所は誰でもほしい。童心に帰ることで自分を保つ場所。

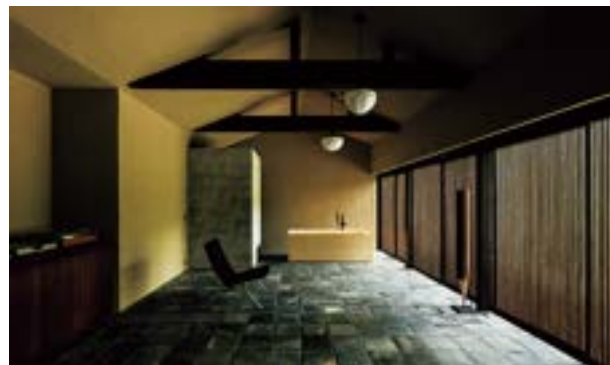


8. 和モダン



くつろいで豊かな時間を過ごせる空間をデザインする。

CLT（Cross Laminated Timber）を用いた構造を検討し、梁のないシンプルな室を形成する。



9. 光と風



穏やかな光に恵まれ、風が流れる家屋とする。

無理のない方法で中間期は日中照明・空調なしで快適に過ごせるよう計画する。

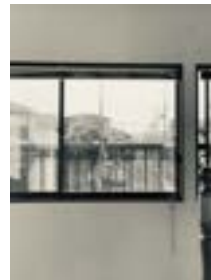


10. ご近所づきあい



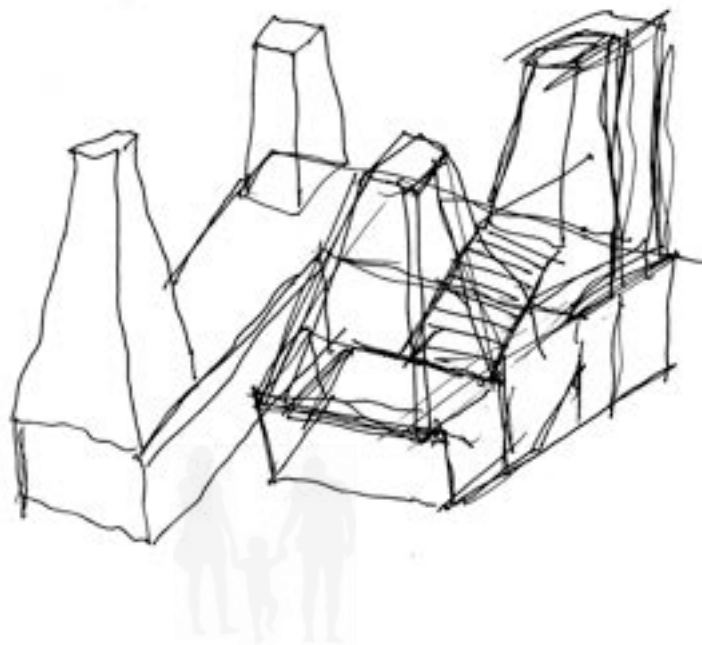
親戚や地域との交流が無理なくできる家にする。

閉じながら開き、開きながら閉じることで、状況に応じ距離を変えながら共に暮らす。

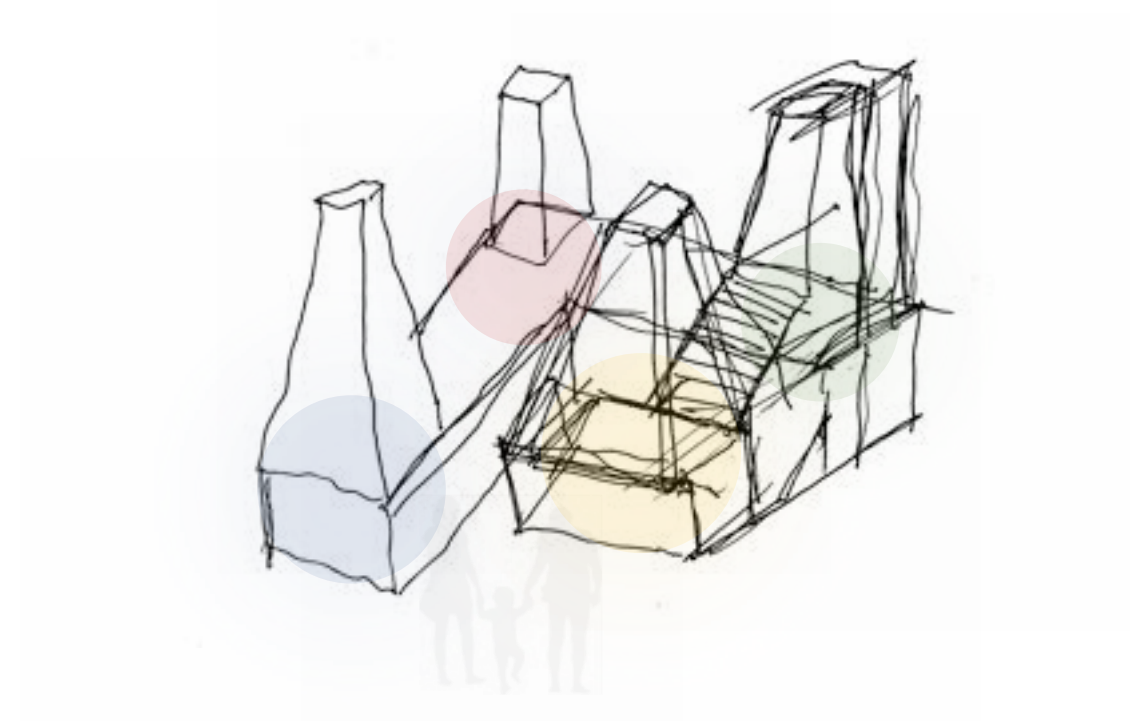


concept

塔の下に集う家

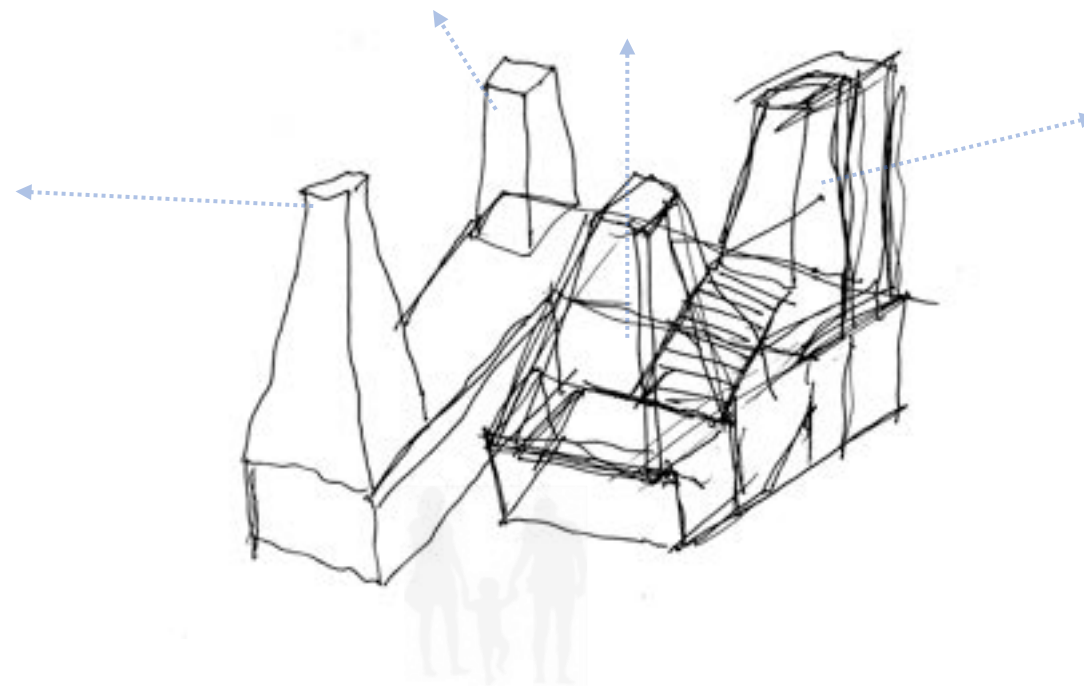


塔の下に集う家



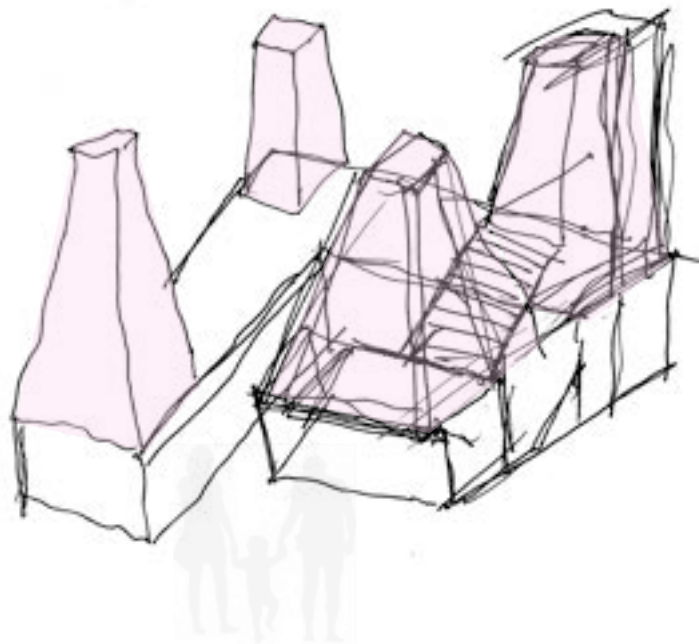
塔の下に誰かの営みがあったりする

塔の下に集う家



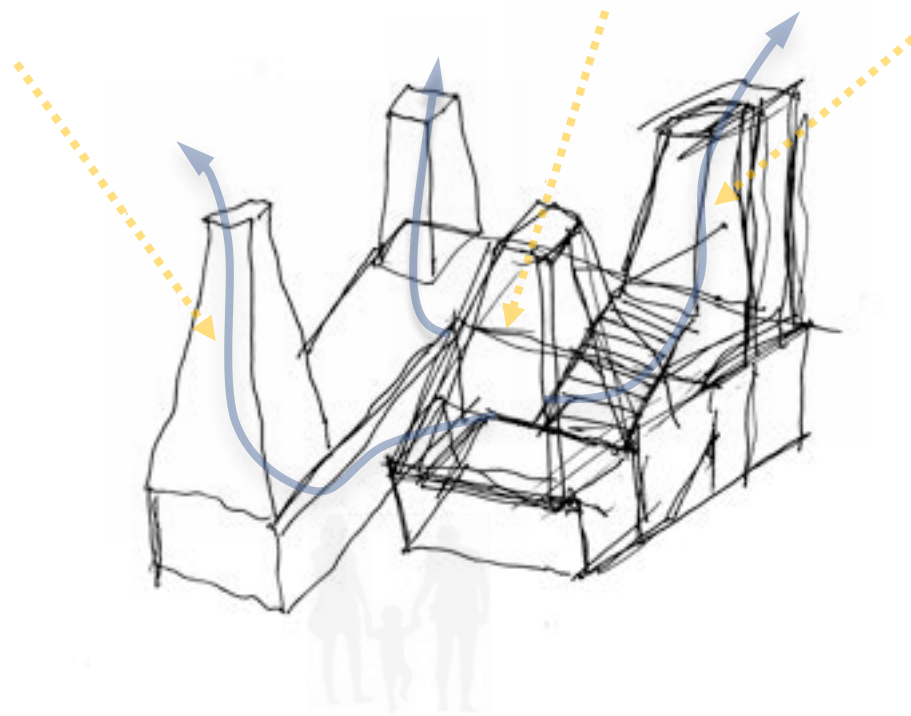
塔からは空や景色が見えたりする

塔の下に集う家



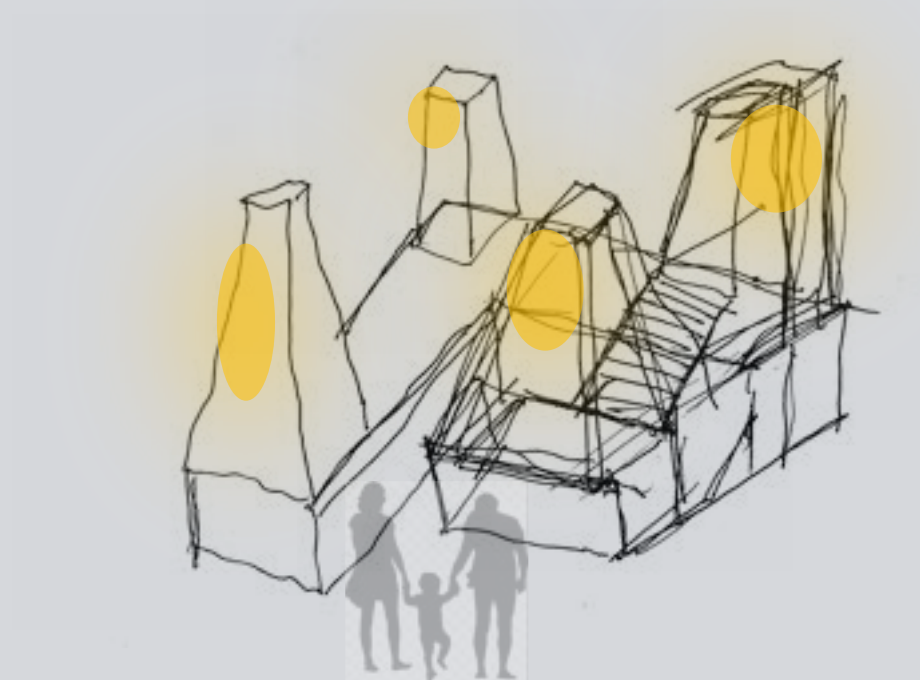
塔は家のシンボルになったりする

塔の下に集う家



塔は光を取り入れ風の流を促したりする

塔の下に集う家



塔は町に穏やかな明かりを灯したりする



























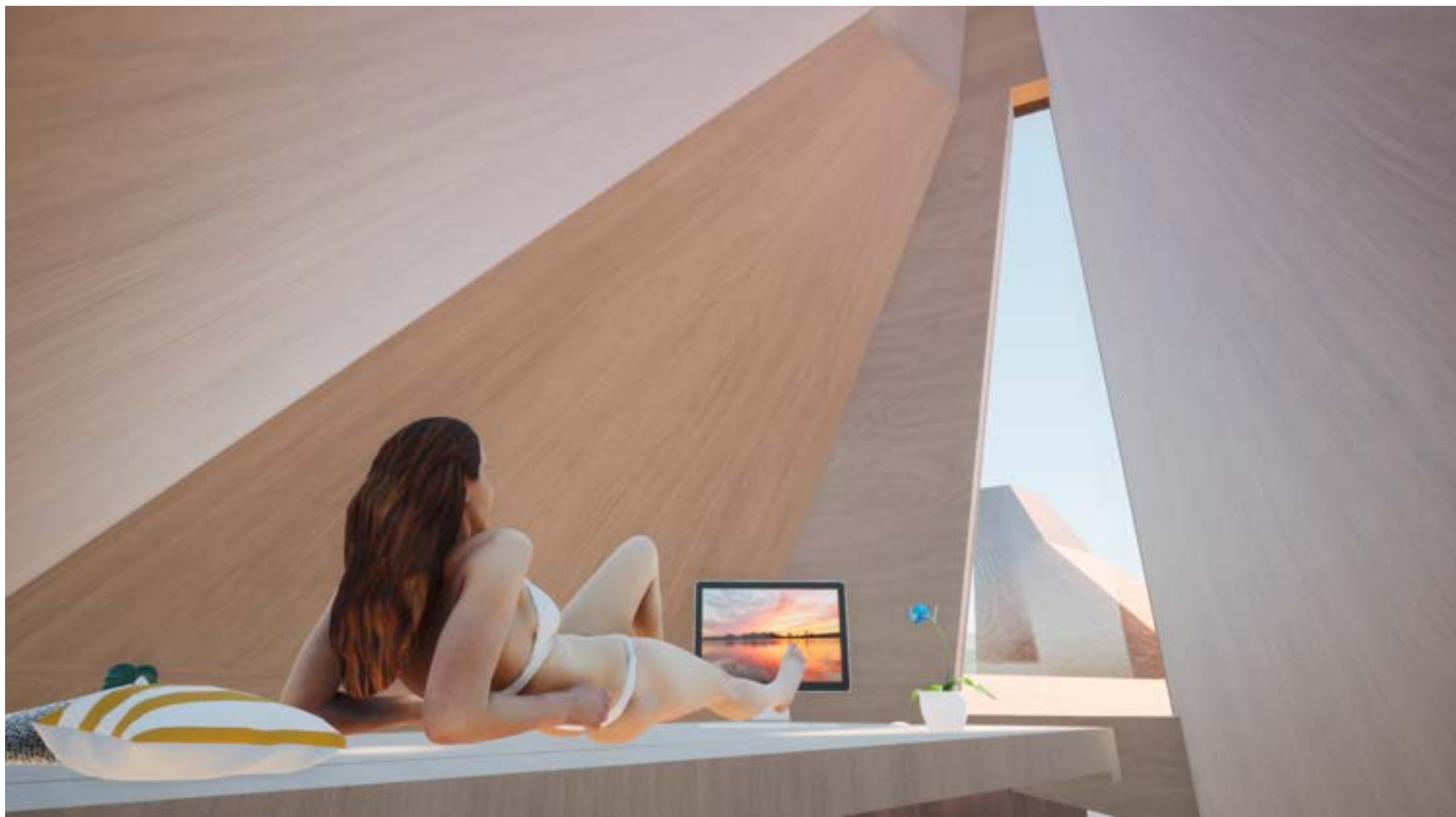
























(参考)
1f: 約93.2㎡
2f: 約12.6㎡
計: 約105.8㎡



1f plan



2f plan



roof plan



west-east section



north-south section